

移住者新聞

2023
Vol. 1

二〇二三年四月
発行：日田市
ひた暮らし推進室



平成30年3月に島根県出雲市より移住した清水隆矢さん
空き家バンクを利用して移住し、現在 大山町に本人と妻・
子の家族3人暮らし。落ち着いた雰囲気の中で、市街地へ
のアクセスも良く暮らしやすいところで気に入っています。

◆移住後の暮らし

島根県に住んでいたころは、農
村や漁村のまちづくりや冊子を制
作する仕事をしていました。移住
支援に関わる仕事もしていました。
現在は市外の会社に車で通勤して
います。

妻は市内の林業会社に勤務し山
の現場で仕事をしています。

仕事をしながら妻と協力して、

日田の田舎ならではの恵みを生か
した商品づくりを進めています。
森に自生する「くろもじ」という
木の枝を使ったお茶の商品化やヒ
ノキの枝を使ったマグネットなど
小さな仕事づくりを目指していま

す。「くろもじ茶」は島根県では
昔から飲まれている地域もありま

春は新しいことを始めたり、チャレンジしたりするのによい時期です。桜の花びらは舞い散りましたが、新しい芽吹きを感じられる清々しい季節になりました。新型コロナウイルスも5月には「5類」に移行され、以前のような生活スタイルに戻るようです。これまで控えていたことを取り戻していけるとよいですね。
今号は、島根県出雲市から移住した清水隆矢さん取材しました。

日田市で活動している人や、これから何かを始めようとしている人たちの横のつながりがつくれて、この講座に参加したことは大きな収穫でした。

◆現在取り組んでいること

小さな仕事づくりに取り組む中
で日田市の制度をいろいろと活用
しています。日田ビジネスサポー
トセンターでは専門家から様々な
アドバイスを受けることができ、
何度相談しても無料なので助かっ
ています。必要に応じて、他の支
援機関を仲介してくれたり、必要
な資料を提供してくれたりします。
気軽に相談でき、継続して同じ人
に相談できるので、こちらの事情
を踏まえたアドバイスをもらえる
のが良い点だと思います。

ほかにも、まちづくり推進課の
「まちのちいさな仕事づくり」の
連続講座にも夫婦で参加しました。

◆おススメの場所や趣味について

小鹿田焼の里は自然の素材を活か
し、手仕事にこだわった独特な文化が
残っていて日田の好きな場所の一つで
す。ことこの里にも湧水をよく汲み
にいきます。

島根県の知り合いが日田に来てく
れたことがあり、小鹿田焼の里を案
内したらとても喜ばれ、日田ん寿司
など地元グルメの店も好評でした。



島根県在住のときに
清水さんが制作した冊子



次に趣味といえばカメラ。親子共通の趣味でもあり、日田の自然の風景や木々、小鳥などの写真撮影をしています。川遊びも好きなので、夏には川で魚やカニなど生き物観察をしています。博物館の自然観察や科学実験のイベントにもよく参加します。淡窓図書館も本の種類が充実しています。よく利用しています。



👉👉👉
木の枝のマグ
ノキのネット。林業が盛んな日田ならではの商品として定着してもらいたいですね



小学生の息子さんが撮影した写真です。自然の風景を探すのも楽しみの一つです



大山ではダイヤモンドプレイス(大山町浄化センター)の芝生や鳥宿(からとまり)神社によく行きます。景色が良く一望できるのにおススメです。(今回の取材でもダイヤモンドプレイスの近くで撮影しました)

◆ひた暮らして伝えたい事、知ってほしい事
子育て環境もよく、山や川など自然が身近にあることや市街地にも程よくお店があるので不便さは感じません。
日田市は小規模な事業を立ち上げようとする人への支援がいろいろあり助かっています。何か目標がある人に対して、応援してくれる人、懐深くアドバイスをくれたりする人がたくさんいます。いろいろなイベントに参加したり、スタッフをしたりするとうれしいです。まだ目標が見つからない人は、いま頑張っている人たちを応援してみるのもよいと思います。

◆今後の目標

「くろもじ茶」は、4月30日(日)の大山スマイルマルシェでテイクアウトのドリンクの形で販売をスタートすることになりました。他にもヒノキのマグネットの商品化など小規模な事業を複数進めていきたいと考えています。

◆「くろもじ」とは…
「くろもじ」は日本固有の樹木で高さ2〜3メートルほどのクスノキ科の落葉低木です。枝は爪楊枝や箸に加工されたり、お茶やアロマオイルの原料になることもあります。清水さん夫妻は、山の所有者さんの許可を得て、山に自生している「くろもじ」を採取しています。自生する素材を使用しているうえ、「くろもじ茶」は一般的にノンカフェインでもあるので、幅広い世代が安心して飲むことができます。



👉清水さんのくろもじ茶を試飲しました👉
ハーブティーのようなまろやかなやさしい口当たりで、後味には柑橘系のさわやかさがありました。くろもじの枝も実際に見せていただきましたが、このような味わいがでることに驚きです。
採取の時期によっても、味の変化があるということなので、四季によって飲み比べてみるのも楽しそうです。

